



2013年(平成25年) 5月発行 No.61

福岡県高齢者福祉生活協同組合  
〒812-0025 福岡市博多区店屋町3-23  
サカタビル2F  
TEL (092) 282-1431 FAX (092) 282-1433  
発行責任者：理事長 宮田 育郎  
編集責任者：ひやくさい広報委員会  
Email : ikiiki00@mba.sphere.ne.jp

ふくし生協

検索

## 宗像・福津事業所（福岡地区）

### 宗像拠点

### 「さくらデイサービス日の里」

〒811-3425 宗像市日の里6-5-3  
(0940-36-6670)



「さくらデイサービス日の里」は、定員10名の地域密着認知症対応通所介護事業所です。

他の介護施設や病院では受入困難な認知症の方を積極的に受け入れ、細やかな対応で安定した生活づくりをめざしています。

(管理者：高田朋之)



(所長：森元 茂利)

### 「宅老所たんぽぽ」 〒811-3223 福津市東福間2-9-2 (0940-35-8580)

「宅老所たんぽぽ」は、今から10年前、地域組合員のみなさんの声によって開設され、一時は存続の危機もありましたが、それを乗り越え昨年7月には2カ所目も開設しました。すでに定員11名では対応できなくなり、新たに3月には定員15名で拡大移転を果たしました。（管理者：百名みどり）



福  
津  
拠  
点

### 「宅老所第2たんぽぽ」 〒811-3223 福津市東福間2-24-8 (0940-39-3008)

「宅老所第2たんぽぽ」は、「宅老所たんぽぽ」から歩いて5分程度の同じ団地内に開設されました。開設7ヶ月で定員10名に達し、4月から12名に拡大しての運営となります。（管理者：坂口佐代美）



福岡県高齢者福祉生活協同組合の県内全事業所を紹介します。

# 通常総代会を 迎えるにあたつて…

専務理事 稲月 秀雄

私たちが地域とつながり、目の前にいる組合員個々人が抱える課題と向き合うことで、改善のため必要な運動が見えてきます。現状を正しく把握し、行政とも連携し、その課題の解決に取り組むこと自体が一つの運動です。

制度を知らずして、制度の不備は語れません。組合員や地域とつながらずして、その課題は見えてきません。共に学習する機会をつくりましょう。『宅老所ケア』を通じて地域の福祉に貢献しましょう。

協同組合原則・理念『めざすもの』には、私たちふくし生協がどのような組織で、何を実現するため力を合わせるべきかが示されています。

第1期中期計画の中核方針として揚げた『宅老所ケア』の実践は、その原則・理念に基づき提唱して

きたものです。『宅老所ケア』を端的に表現するならば、「高齢になつても障がいがあつても住み慣れた地域で生活しつづけたい」：そういつたご本人やご家族の思いに「寄りそなうケア」です。

語源となつた「宅老所」は、高齢期に直面した困りごとを地縁・血縁等で支え合ってきた「共助」の仕組みです。行政主導ではなく、過疎化した地域等において、必要に迫られて誕生した背景も見逃せません。

介護保険法施行により、その「宅老所機能の一部」が制度サービス化されたことで、市場原理が導入され「地域の力」と分断されてしまいました。

**[注1]：介護者に見られる特徴**

- ①「介護は家族がすべし」という考え方で本人も周囲も縛られている
- ②支援が必要なのに、それに気が付かず自分が助けてもらえると思つていらない
- ③介護が突然始まり、困りごとが整理できず、誰に何を相談したらいいかわからない

昨年の総代会で「変化への挑戦」を掲げて取り組んでいる3ヶ年共通課題は、この『宅老所ケア』の「3つの機能」充実させること目標にしています。その目標に向かつて前進しているかどうか：、今年度の総代会では、その視点での議論をお願いします。

私たちの地域福祉事業所や支部

やむを得ない背景から、「地域の力」を結集して生まれた共助ネットワークが「本来の宅老所」だとすれば、私たちがめざす『宅老所ケア』は制度サービスと分断された「地域の力」を一體的につなげる挑戦と言えます。

は、相談にこられた介護者と関わりながら『宅老所ケア』の実践を深め、地域になくてはならない「未来の宅老所」のような存在になります。

**[注2]**

- ①介護者や困つた方が気軽に相談できる機能と公的な社会保障等につなげる援助・助言をする機能
- ②質の高い介護保険等サービスを提供する機能
- ③困りごとを柔軟に解決する支え合いの機能

私たちは①の実現に向けて「よろず相談窓口」を開設しました。②の実現に向けて「医療・介護」の連携強化を進めています。そして③の実現に向けて「安心サポート」の準備を進めています。

私たちの『宅老所ケア』は、ご本人・ご家族の思いに寄りそなうケアを通じて、誰が介護者となつても孤立することなく、住み慣れた地域での生活を支える役割を果たすと確信しています。その『宅老所ケア』で実現すべき機能は3つ「注2」あります。

# —「明日」への語りあい—

## 第14回通常総代会のお知らせ

ふくし生協では年1回、組合員の皆さんのが集まって、この一年間の活動や財政がどうだったかをふりかえり、各地での活動を交流し合います。そして、これから的一年間、どのようなことをめざしてどんなふうに活動していくか、中長期の目標にむけてどのようにアプローチしていくかを話し合い、確認し合う大切な場としての総代会です。

オブザーバー参加も大歓迎です。ぜひご一緒に「明日」を語り合いましょう。

### 総代会日程・会場

2013年6月23日(日) 13:00~16:30

### エルガーラホール・8階大ホール

(福岡市中央区天神1-4-2)

- 地下鉄天神駅より……………徒歩5分
- 西鉄天神福岡駅より……………徒歩3分
- 西鉄天神バスセンターより………徒歩3分
- JR博多駅より …………… タクシー10分
- 福岡空港より……………タクシー20分
- 地下鉄天神南駅より……………徒歩1分



### 総代会 議案

- ・第1号議案 2012年度事業報告、決算報告、監査報告及び余剰金処分案承認の件
- ・第2号議案 2013年度活動方針・事業計画及び予算決定の件
- ・第3号議案 定款の一部変更の件
- ・第4号議案 役員報酬限度額決定の件
- ・第5号議案 議案議決効力発生の件

地区名	総代定数
北九州	66名
筑豊・遠賀川	26名
福岡	59名
筑後	3名
本部・その他	15名
合計	169名

提案53条および総代選挙規約に定めるところにより、表のように地区ごとに2013年度総代の選挙を5月20日に実施しました。総代定数は組合員30名につき1名の総代の割合を基本に定められました。なお、立候補者が定数以内だった選挙区では候補者全員を当選としています。



起汐充雄氏

## リレー・エッセイ(5)

### 健全な活力があります。

理事

起汐

充雄

ふくし生協の組合員と職員の皆さん、「ほぼ初めまして」というご挨拶からしないといけません。私はほぼ20歳のときから6年前まで40年ずっとエフコーポやコープ九州というところの生協で常勤の職員や役員をやつてきました。非常勤役員やNPO作りなどをつけています。年齢は65歳、高齢者の新参者です。

ふくし生協の理事を拝命して3年目、月1回の理事会だけのお付き合いです。したがって深く関わることもなく、理事会以外の皆さ

んとはお会いする機会もないまま、理事会の末席を汚しております。すみません。

実は、初めてふくし生協の理事会に参加したときから新鮮な感動があり、それは今も変わりません。

ふくし生協の組合員と職員の皆さん、「ほぼ初めまして」というご挨拶からしないといけません。

私はほぼ20歳のときから6年前まで40年ずっとエフコーポやコープ九州というところの生協で常勤の職員や役員をやつてきました。非常勤役員やNPO作りなどをつけています。年齢は65歳、高齢者の新参者です。

本的にはふくし生協の舵取りを委ねていいと思います。

でもですね、ふくし生協の事業経営の環境は厳しいです。いえいえ高齢者の現在の生活も将来の生活も厳しいので、ふくし生協の事業経営が厳しいのです。

それは、介護報酬制度が十分でないために介護施設の経営が苦しむという政治の貧困のためです。

長く続くデフレ不況の中で、介護事業でもやるかとか、介護職しかし仕事がないなどのデモシカ先生ならぬデモシカ介護施設とデモシカ介護職です。これでは、利用者も働く皆さんも施設経営者もみんな不幸ですね。政治の貧困です。

それに TPPが入れば、ますます地域産業は衰退し、デモシカ介護業界は繁栄するでしょう。

健康で過ごす高齢者よりも、要介護認定の高齢者が増えたほうがありがたいという本末転倒の風潮が加速し、税金（消費税）の負荷はますます国庫を不健全にしていきます。経済危機のEUと日本

ジネスの対象になるでしょう。それに対してふくし生協は豪華な施設を作る財力は無いし、えげつない貧困ビジネスで儲けるほど良心を殺せないし…どうしたらふくし生協の理念での介護事業を続けられるでしょうか？

このふくし生協のテーマの答えは、元気な高齢者がふくし生協に集つて生活者本意の事業づくりで自分たちの仕事も生計費も自ら稼いでいくことです。そこにふくし生協の未来を懸けませんか！

元気な高齢者で事業を起こし雇用を創り、共助の地域社会を作りませんか！

### 漢字クイズ（頭の体操）

この「当て字」読めますか？

- |        |      |
|--------|------|
| ① 阳炎   | ⑪ 紙縫 |
| ② 嬉尾   | ⑫ 花魁 |
| ③ 七五三縄 | ⑬ 小豆 |
| ④ 白湯   | ⑭ 老舗 |
| ⑤ 生憎   | ⑮ 曲尺 |
| ⑥ 月代   | ⑯ 浴衣 |
| ⑦ 長閑   | ⑰ 流石 |
| ⑧ 山車   | ⑱ 玄人 |
| ⑨ 濁酒   | ⑲ 竹刀 |
| ⑩ 五月雨  | ⑳ 狼煙 |

(答えは11ページ)

延命治療を拒否する人が増えているのですが、家族が本人の意思どおりにしてくれない場合も多いそうです。自宅での自然死に取り組んできた在宅医療の医師が、自分の父親には救命のためにできることは何でもしてほしいと頼んだ自己矛盾について、テレビ番組で語っていました。

でに4万キロを歩き、世界で最初の精密な日本地図を作り上げました。「偉業を成し遂げられたのは先生のお陰である。どうか先生の側に葬って欲しい」という遺言どおり三九歳で早逝した天文学者高橋至時の傍らに眠っています。

葛飾北斎は「富嶽百景」を七四歳で完成させました。享年八八歳

だけだと存じますので『あの人も逝ったか』と一瞬、たつたの一瞬思い出して下さればそれで十分でございます」と遺書を残し、自宅で動脈瘤破裂のため亡くなつてました。享年七九歳。きつぱりとした潔さです。

先人をうかがうに、高齢期だからこそ的人生の真骨頂があり、豊かさがあるよう思います。

方が可能になるときだと考えることができます。

身体が弱つても、蓄積した経験知を使い、衝動や憧れや欲求を実現すべく前に進むことができるのではないでしようか。

「はたして今、自分が納得できるようになって生きているであろうか。自分らしい豊かな日々とは何か」。

エンディングノートを書いてい

**健康ひとつくちメモ**

すると危険度は変わりません。少し前のデータですが、滑りの原因は▼畳の上に新聞が放置されている▼フローリングの床に油や水が付いている▼カーペットの上にナイロン袋が放置されている——などの場合だそうです。普段から部屋中の整理整頓を心掛け、床に何かこぼしたら拭き取る習慣を付けましょう。

また、座布団やカーペットの

## 部屋での転倒にも注意

高齢になると、つまずいたり足元が滑つたりして転倒することが多いります。内閣府の調査によると、意外にも屋外より自宅で転倒するの方が多いそ

うです。

高齢になると、つまずいたり足元が滑つたりして転倒することがあります。内閣府の調査によると、意外にも屋外より自宅で転倒するの方が多いそうです。

自宅での転倒を防ぐためにはバリアフリー化が大切だとされています。しかし、せっかくお金をかけてリフォームしても、端でつまずくことが多いので、端がめくれないように両面テープで留めるなどして防ぐのもいいでしよう。転んで骨折しないように注意しましょう。

また、座布団やカーペットの端でつまずくことが多いので、端がめくれないように両面テープで留めるなどして防ぐのもいいでしよう。転んで骨折しない

自宅での転倒を防ぐためには、バリアフリー化が大切だとされています。しかし、せっかくお

つまり、エンディングを考えることとは、生き方の問題に回帰するのです。

七三歳で「倚りかからず」を発表した詩人の茨木のり子は「私の意志で、葬儀・お別れ会は何もいたしません。この家も当分の間、無人となりますゆえ、弔慰の品はお花も含め、一切お送り下さいませんように。返送の無礼を重ねる

自宅での転倒を防ぐためには  
バリアフリー化が大切だとされ  
ています。しかし、せっかくお  
金をかけてリフォームしても、  
部屋の中が散らかっていたり、  
掃除が行き届いていなかつたり

自宅での転倒を防ぐためには、端でつまずくことが多いので、バリアフリー化が大切だとされています。しかし、せっかくお金をかけてリフォームしても、端がめくれないよう両面テープで留めるなどして防ぐのもうまくいくでしょう。転んで骨折しないように注意しましょう。

(西日本新聞より引用)

# 報 告

## ふくし生協ケアワーカー集会(盛会裡に終る) (講演・基調提案・5分科会会場に183名が参加) —よりよい介護をめざして、私たちは今…—

つぶやいたー  
頭がイターティー!!

### 二〇一一年度ケアワーカー集会開催

・日時：平成25年3月17日(日) 10時30分～16時  
・会場：TKPガーデンシティ博多

平成25年3月17日(日)、二〇一二年度行事の一つである標記集会が開催されました。

朝10時頃には会場のTKPガーデンシティ博多(福岡市博多区駅前四丁目)に、県内の各事業所から職員達が続々と参集。

10時30分の開始時には、大広間の全体会場は約一八〇名の満席状態。学習意欲一杯のそのマンパワーは正に圧巻です。

このケアワーカー集会はこの十年ほど、毎年三月に開催されており、県内各事業所のケアマネジャーら介護に従事する職員の学習の場となっています。

このケアワーカー集会はこの十年ほど、毎年三月に開催されており、県内各事業所のケアマネジャーら介護に従事する職員の学習の場となっています。

**講演 NPO法人あいあい 理事長 湯浅 しおりさん**

「あいあいの事業と助け合い活動」

「午前の部」は講演です。

今回は三重県の尾鷲市でNPO法人「あいあい」を運営されている湯浅しおりさんを講師に招いてのお話です。

三重県は紀伊半島の東端に位置し、北側は滋賀県、南は和歌山県に、西は奈良県に接しています。尾鷲（おわせ）市は県の南部、

10時30分の開始時に従事、基礎から学びましたが慣らし、ヘルパーの一人として介護職に従事、基礎から学びました。当初、白衣の仕事（看護師）と違ったヘルパーの一人として介護職に従事、基礎から学びました。しかし「依頼を断わらない」をモットーにしてガムシャラに励みました。やがて利用者も増えて、次々と組織と体制も大きくなっています。市行政からの信頼も増しました。市行政からの信頼も増すようにになりましたが、「損して得取れ」の信念を今もつらぬいているという彼女の言葉は、飾り気のない本音トーケと実践の積み重ねであり、聞く者の胸を打ち、共感するものがありました。

講演の中で、児童や障害児童対



湯浅理事長

入り組んだ海岸線と尾鷲湾に面した人口二万九千人の市です。彼女（湯浅さん）は今から13年前に看護師から転身、コムスンに入社し介護の道を選択しました。やがて二人の仲間と三人で独立し今の事業所を立ちあげました。

当初、白衣の仕事（看護師）と違ったヘルパーの一人として介護職に従事、基礎から学びました。やがて二人の仲間と三人で独立し今の事業所を立ちあげました。

やがて二人の仲間と三人で独立し今の事業所を立ちあげました。やがて二人の仲間と三人で独立し今の事業所を立ちあげました。

まだ40代の若さの彼女、そのパワフルな弁舌にはこれまで実際に実践してきた人ならではの自信と迫力に満ちあふれており、大いに刺激を受けた講演会でした。

### 一基調提案

専務 稲月 秀雄

湯浅理事長の講演終了直後に稲月専務が登壇。「講演の中のインフォーマル活動などは、当ふくし生協が『宅老所ケア』の実践の中で実現を目指している内容と同質のものであり、高齢になつても障がいがあつても住み慣れた地域で生活しつづけたい！」。そういうふた思いに『寄りそなケア』である。従つて高齢期の生活者が直面する困りごとを地縁・血縁者で支え合ってきた『共助』の仕組みを高めるため、相談窓口の開設、医療介護の連携強化、安心サポートのモデル展開等の三つの機能をレベルアップして、地域に貢献していくことが大事であり、大いに期待している」と語られ、必ず実現できる！と力説されました。

# 午後の部は 分科会です。

## 【第一分科会】 宅老所ケア

①託児・学童を始めて一年経つたけいちくの取り組み、②看取りまで取り組む逃げない介護で事業を広げてきた水巻「赤とんぼ」、③生活保護の利用者さんの社会支援を続ける久留米、④訪問看護ステーション千代の取り組み、⑤グループリビングに取り組んでいる嘉飯の報告が行われました。午前

### ケアーカー集会に参加して (直方事業所)

中の湯浅さんの講演に負けない「これが我が事業所の宅老所ケアだ」という我が職員の気概を見せてくださいました。報告の後、活発な討論・質問が行われました。

## 【第二分科会】 食事介助

嚥下（えんげ）は、食物を口腔から胃まで運ぶ運動。この過程のどこかで上手くいかなくなることを嚥下障害という。誤嚥（ごえん）は食物か異物を気管内に飲みこんでしまうこと。プロジェクトを使つて嚥下のメカニズムを学び、誤嚥を防ぐいくつかの方法を学び

午後は宅老所ケアの分科会に参加、各事業所の取り組みを聞きました。他事業所では、赤ちゃんからお年寄りまで。障害のある人もない人も一緒にお世話したり、されたり。それを事業の一つとしているという事です。「赤ちゃんがいて高齢者が生き生きする。子どもたちがお年寄りに自然に接している」素敵な光景だと感じました。

二〇〇一年に事業所を立ち上げ「断わらない、何でも引き受けける事業所」として大きくなり、今や6階建てのビルを完成させました。「断つたらゼロ、断らなければ何かが始まる」との言葉が、迫力、バイタリティに圧倒されました。「断つたらゼロ、断らなければ何かが始まる」との言葉が、一番印象に残りました。皆も良い刺激を受けて元気をもらつたと思いました。

（記・梶原 政子）

合いました。そして、もし誤嚥が発生したときは、背部叩打法（タッピング）やハイムクリック法を試して、最終手段として掃除機による吸引ノズルを使用することも学び、参加者全員で体験しました。

## 【第三分科会】 移動・見守り・転倒防止

転倒事故ケースを三つの寸劇にして、5グループに分かれてグループワークを行いました。寸劇をしたことでの場が和み、話しやすい雰囲気になりました。ケースごとに各グループの討議内容を発表できました。三つのケースが通所の場合だったので、訪問介護の場面も加えるとともに良かったかも知れません。この後、二つの事例報告を行い、簡単な感想を一グループ一人ずつが順に発表しました。

最後に総括して終わりましたが、時間が足りず、事例についてグルーブワークできなかつたことが心残りでした。

## 【第四分科会】 安心サポート

「人の役に立てることで生きがいを持つ」「今の時代は最も大切な部分を制度の中だけではまかなければならない。安心サポートは必要」などの意見が出されました。生活の中で、なぜ安心サポートが必要なのか、どのようにすれば実践できるのか、参加者35名全員が深く考え続けた二時間半となりました。テーマの一つでもあった「ふくしまにその通り!!全職員が一つになり安心サポートの実践に向けて進んでいきましょう。

## 【第五分科会】 介護実技

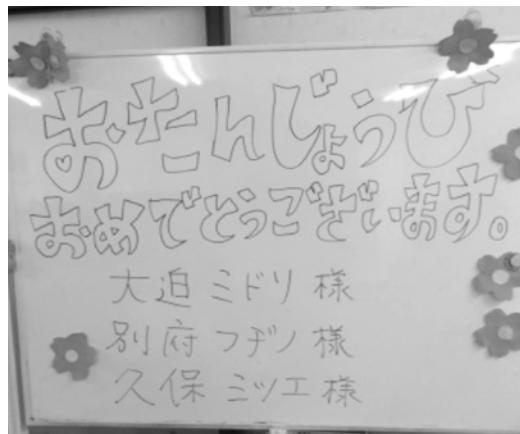
介護実技では、最大限にボディメカニクスを活用した介助方法を実習しました。安楽弥生講師の熱い入った指導に参加者も真剣そのもの。介助に正解はないが、ボディメカニクスの活用で介助者、利用者双方の負担が軽減できることを学びました。そのために、利用者さんの内なる力を引き出すための会話、利用者さんが何ができる何ができるのかを見極めての対応が重要であることを学びました。

安心サポートの必要性についてそれぞれに与えられた5つのテーマに基づいてデイベート形式で討論会を行いました。「泊りは、お金と人をつぎ込めばできるというものですよ。来年は是非ご一緒に参加しましょう。

### おことわり

（広報委員会）

「街かど探訪」は都合により



宅老所ほのぼの誕生日会

# 支部・事業所だより

## 「宅老所ほのぼの」 の誕生日会 (けいじく 事業所)

「宅老所ほのぼの」では、毎月、ご利用者様の誕生日会を実施し、ご本人やご家族の皆様に大変喜ばれています。

誕生日の当日は、バースデイカードとプレゼントと一緒にお贈りし、みんなでお祝いしています。そして、他の利用者の方々からもお祝いの言葉を頂いたりし、中には「感

無量です」と号泣される方もいらっしゃいます。勿論、スタッフも一緒に感動しちゃなし!で嬉しい限りです。これからもずっとお元気で長生きして下さいね。スタッフ一同の心からの願いです。

(記・田中 基)



久保ミツエ様



大迫ミドリ様

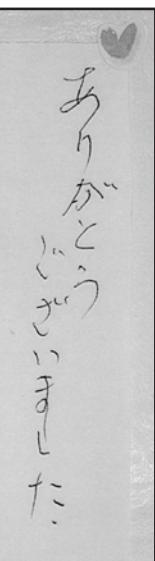


別府フヂノ様

## オリジナル「誕生日 プレゼント」を作製 (ぬくもり事業所)

かではありますが、誕生日プレゼントをお渡ししています。職員手作りの写真立てや、手作りカードや色紙・ネーム入りタオルなど、ヘルパー全員で色々と案を出しながら、いつまでもお元気で:の思いを込めて作製しています。

最近では、実用性のある物の要望もあり、今年は、お箸やコップなどを誕生日にお渡ししています。ご利用者やご家族様からも、御礼の言葉やお電話を頂いています。



八十六才を迎えました  
四〇年目お世話になつて大変つれい  
事ばかりですまた希望をもつて  
生きようと思いオ音今后共  
ようしくお頼り致(ます)  
ヘルペスティション様  
2/15. 田中基子

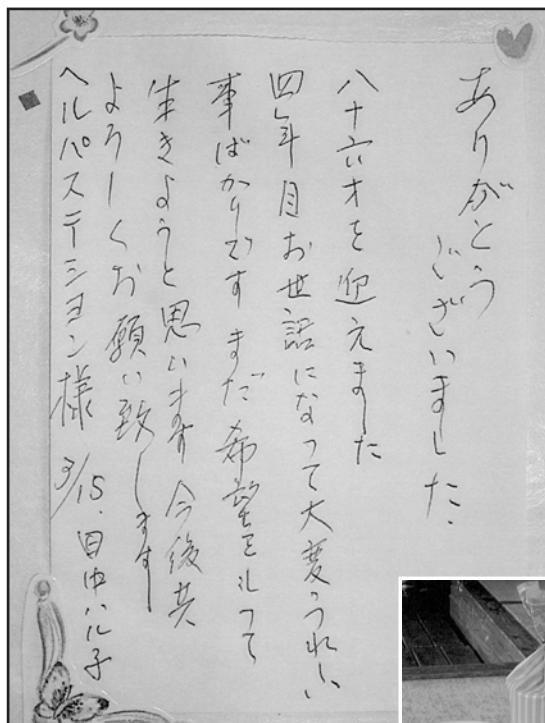


過しただけるように、翌年もまた、お祝いを届けられるようにと一つ一つに思いを込めて…

(記・伊藤 恵美)

## “感謝”のお便り紹介

ぬくもり事業所のご利用者様の田中ハル子様から、左記の様なお便りが届きました。心のこもったお便り、ありがとうございました。



# 「夢×現実？」

けいいちく事業所  
中島 義治・作



**見学会・懇談会開く  
(水巻事業所・支部運営委員会)**

ふくし生協・水巻事業所の新規物件（屋敷）購入に伴い、4月13日（土）地元の方々への「見学会・懇談会」が事業所と支部運営委員会主催で開かれました。当日は、区長・公民館長・民生委員さんをはじめ、地元の方々32名、運営委員・職員を合わせると48名の方々が参加され、大広間に入りきれなり程の盛況ぶりでした。みなさん、

「ここにはよく遊びに来ていた」「ここで飲んだこともあるなあ」となどと、懐かしそうに見学されていました。又、懇談会は、坂元運営委員長の進行で、宮田理事長・藤田所長の挨拶の後、地元区長さんから

「赤とんぼさんは大変お世話になつてます。赤とんぼさんのが

近くにあるのはとても心強いでです」などのご挨拶を頂きました。又、参加者からは、「死ぬまで見てもらえますか」「年金だけで入居でき

しました。

講師に嘉飯事業所の所長であり、

今後、地域のニーズに応える展開が期待されています。懇談会の最後は、職員手作りによるおなじみ「赤とんぼ音頭」が披露されてなごやかな雰囲気のうちに終了しました。（取材・西田）

（取材・西田）

ふくし生協・水巻事業所の新規物件（屋敷）購入に伴い、4月13日（土）地元の方々への「見学会・懇談会」が事業所と支部運営委員会主催で開かれました。当日は、区長・公民館長・民生委員さんをはじめ、地元の方々32名、運営委員・職員を合わせると48名の方々が参加され、大広間に入りきれなり程の盛況ぶりでした。みなさん、

宮田理事長挨拶  
藤田所長の挨拶の後、地元区長さんから「赤とんぼさんは大変お世話になつてます。赤とんぼさんのが

近くにあるのはとても心強いでです」などのご挨拶を頂きました。又、参加者からは、「死ぬまで見てもらえますか」「年金だけで入居でき

しました。

講師に嘉飯事業所の所長であり、

今後、地域のニーズに応える展開が期待されています。懇談会の最後は、職員手作りによるおなじみ「赤とんぼ音頭」が披露されてなごやかな雰囲気のうちに終了しました。（取材・西田）

（取材・西田）



吉野道利氏

**第二回  
文化講座開催  
(直方事業所)**

4月14日、直方市

内の公民館を会場にして、直方事業所主催「第二回ふくし生協文化講座」を開催

されました。この日、地域の高齢者20名の参加があり、熱心に受講。終了後、数多くの質問が寄せられて「エンディング」への関心の高さが伺えました。講義を受けても、一人ではなかなか難しくて書けないとの発言もあり、次回はみんなでエンディングノートの書き方を学ぼうということになりました。

（取材・西田）



熱心に聴き入る皆さん

ますか、不安ですか」「どうしたら組合員になれますか」などの質問や、「ここにコーヒー・紅茶サロンなどできたらいいですね。お力を貸してください」などの要望も出されました。

今後、地域のニーズに応える展開が期待されています。懇談会の最後は、職員手作りによるおなじみ「赤とんぼ音頭」が披露されてなごやかな雰囲気のうちに終了しました。（取材・西田）

# 本部事務局 だより

## ふくし生協から 介護職員羽ばたく!!



熱心に受講中の皆さん

本年2月1日からスタートしたヘルパー2級養成講座は3月15日本部にて修了式を行いました。宮田理事長からねぎらいの言葉とともに一人一人に修了証書が授与され、新たに14名の受講生が資格を取得されました。みなさんは一ヶ月半という短期間に多くの内容を学ばなければなりません。毎日、長時間にわたる講義を受けながら、

宿題のレポート作成も大変だったようです。しかし、大変意欲的に学ばれ、困った時はお互いに助け合い励ました。とてもあたたかな雰囲気のクラスになりました。「ふくし生協の講座を選んで正解でした」「ふくし生協だったから最後まで続けることができました」「ふくし生協で学んで良かった」というとても嬉しい声もいただきました。

この養成講座は、ヘルパー2級の資格を取得するだけでなく、人と人のつながり、そしてふくし生協とのつながりも生み出されます。この出会いを大切に育てていきました。

また、今回は多くの職員の方に内部講師としても関わっていただきました。日々の実践経験から語られる生の声には説得力がありました。二〇一三年度からは、国の制度変更に伴いヘルパー2級講座は「初任者研修」に移行ますが、職員みんなで共に働く仲間を育て、ますます充実した介護職員養成を行っていきましょう。

(本部・山下 七五三)

## 『ふくし生協フェスター〇一三』 第一回実行委員会の概要

4月11日(木)10時30分より本部会議室において、二六名の参加者による第一回実行委員会が開かれ、左記の様な内容が検討されました。

▼フェスター〇一三実行委員会の役割と体制、委員会日程について事務局提案通り決定しました。

- ・実行委員長：毛利義廣副理事長
- ・副委員長：杉谷岩彌・吉田俊憲
- ・坂元雅子の三氏

- ・担当役員：森元茂利常務理事
- ・役割①全組合員を対象にした

学習と交流の場②ふくし生協への理解を広げ、地域にふくし生協の仲間を増やすきっかけづくり③ふくし生協の文化活動交流の場とすること。

- ・日程：二〇一三年10月6日(日)
- ・会場：北九州八幡ロイヤルホテル
- ・参加者数：目標300名

▼企画の内容：午前中は講演会、講師に内海聰子氏（大阪社保協）が内定しています。

▼午後のセッションはこれまでの三回を踏まえて検討していく。他の企画は持ち帰り検討、5月8日までに提出する事になりました。

## 読者 者の 声

▼「ひやくさい」は毎回楽しみにしています。まずクロスワードパズルに挑戦、ついで漢字クイズにも。

いつも思うことですがあくまで長くと気をつけたいものです。  
**(早良区・奥村 康治・七八歳)**

▼「ひやくさい」を送っていただきありがとうございます。全部読んで、勉強している気分です。みんなの文芸広場で癒されます。

**(八幡東区・北島 律子)**

いつも思うことですがあくまで長くと気をつけたいものです。  
**(早良区・奥村 康治・七八歳)**

先号の「健康ひとつくちメモ」は水分補給の大切さがよくわかりました。でも、「口コモ」とは聞いたことがあります。「口コモ」を読ませていただきました。楽しんでクイズをさせていただいています。皆様の努力で良い方向に行き、老人は感謝です。今後共、よろしくお願ひします。

**(八幡東区・下川 知香)**

▼「ひやくさい」いつも楽しく読んでいます。若いスタッフのご苦労

なお仕事も思ひやれに思ひやれに思ひやれに思ひや  
せられて います。利用者の皆様も  
心強いこと でしょ う。私は「ひや  
くさい」を毎号 読んで います が私  
の方から何の連絡も したことがあ  
りません でした。でも六十号を読  
んでビックリ! 私みたいなズボラ?  
な組合員はみなし脱退組会員と思  
われたら大変: と思ひ クイズの解  
答がてら元気でいることをお知ら

業です。 せいたします。 今は退職して主婦

## 「ふくし生協創立15周年記念誌 製作委員会」がスタート！

## 漢字クイズの答（読み方）

▼毎号楽しみに全ページを熟読しています。先号（三月号）「読者の声」欄の江上淑子さんの記事を読み、ほほえましい情景が浮かびました。

わたしたちの「ふくし生協」が  
来年の春、創立15周年を迎えます。  
そこで、これまでの歩みと出来  
ごとを記録として残すべくここに  
有志の職員を中心に「創立15周年  
記念誌製作委員会」を立ち上げ、  
その発刊を目指すことになりました  
た。二〇〇九年六月に「10周年記  
念誌はばたけ」を刊行した経緯が  
あり、それに続くものです。

(1)かほり	(2)みぞおち	(3)しめなわ	(4)さゆ	(5)あいにく	(6)さかやき	(7)のどか	(8)だし	(9)どぶろく	(10)さみだれ	(11)こより	(12)おいらん	(13)あずき	(14)しにせ	(15)かねじやく	(16)ゆかた	(17)さすが	(18)くろうと	(19)しない	(20)のろし
--------	---------	---------	-------	---------	---------	--------	-------	---------	----------	---------	----------	---------	---------	-----------	---------	---------	----------	---------	---------

# クロスワードパズル

11

▼タテ、ヨコの《カギ》に従つてマス目に言葉を入れてください。すべてのマスを埋め終わつたら、二重マスの中の文字を並べ替えて、《ヒント》にふさわしい言葉を作つてください。



(若松区・小林昭江)  
みに全ページを熟読  
先号(三月号)「読者の  
上淑子さんの記事を読  
ましい情景が浮かび  
とときでした。

《タテのカギ》

## 『ヨコのカギ』

前回の答は「マジュマロ」でした。  
抽選で次の5人の方々に  
QUOカードを送りました。

1

〔二〕ト有名な女流文学者

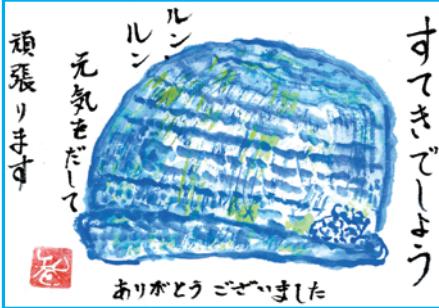
つぶやいたー遊びに行きたいよお!!

完成した言葉と「ひやくさい」の感想などをはがきに書いて、「ふくし生協・広報委員会クロスワードパズル係」まで6月10日必着。正解者の中から抽選で5人にQUO(クオ)カードを送ります。

博多の有名なラーメン専門店。「○○古語で「あはれ」などを○○○○深いなどと訳します。

※出題者（西田治・本部職員）

(桜・ミナミ事業所作品)



## &lt;貼絵&gt;



## &lt;絵手紙&gt;



吉住 智江 (水巻町)

ご投稿ありがとうございます。  
今回は、絵手紙・貼絵・短歌・川柳です。

# みんなの文芸広場

## &lt;貼絵&gt;



岡本カツキ 3作品(貼り絵)  
(けいちく事業所)



## 短歌

(車窓にて)

こぶし散り桜五分咲き春を告ぐ  
黄砂舞うなり 街路眺む

(命)  
細き糸 紬ぐ技術あり くもの巣に  
命ありしか くぐり抜けたり

(夢)  
夢ひろば事業所・西山 春枝

## 川柳

テレビ消す何を見てたかすぐ忘れ  
湯船あふれ勿体なさに手を合わす  
抹茶の一椀に感謝され恐縮す

(けいちく事業所・高本 ウメ)  
春コタツいつ片付けるかちい君に聞け  
—※ちい君とは西森職員の愛犬—

(夢ひろば事業所・渡木 テル子)  
（夢ひろば事業所・西山 春枝）

▼障害者総合支援法が4月1日より施行されました。この法律の正式名称は「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律」なのだそうです……

▼なるほど立派な名称です……が障害者自立支援法から何がどれだけ変わったのでしょうか?

①障害者の定義に難病が追加された。②重度訪問介護の対象者が拡大される。③ケアホームがグループホームへ一元化される。  
(②と③は来年4月より実施)

▼この程度の情報しか私の耳には入ってきません。いずれにしても介護保険法と同様、今後は地域の力がこれまで以上に重要ななりそうです。

▼そんなこんなで、ふくし生協の掲げる「宅老ケア」が地域の力として十分に機能し、浸透していくことを切に望みます。

(委員・光井)

## 編集後記